



THE JAPANESE SCHOOL in LONDON

ロンドン日本人学校だより 4

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく国際
社会を生きぬく児童生徒の育成

合い言葉：自立・貢献

2021(令和3)年

月20日発行 ロンドン日本人学校
令和3年度 第1号

「教育復興」の1年へ 新たな一歩を

校長 石山 秀樹

どこまでも青い空と眩しい陽射しのもと、本校のシンボルである菩提樹にも瑞々しい若葉が芽生える季節を迎えました。20日の入学式では、小学部29名、中学部24名の新入生を迎え、全校児童生徒272名、学校スタッフ総勢36名をもって新たな出発となります。保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学、そして御進級、まことにおめでとうございます。スタッフ一同、心よりお祝い申し上げます。

(令和3年度第1学期始業式 式辞より)

小学部児童の皆さん、中学部生徒の皆さん、進級、おめでとうございます。

皆さんは、またひとつ大きくなり、学年が一つ上がりました。小学2年生の皆さん、皆さんはもう学校で一番小さな学年ではありません。入学してくる新1年生の前で、お兄さん、お姉さんらしくできますか？

学年が一つ上がったということは、また一歩、大人に近づいた、ということです。私は、学校というのは、皆さんが大人になるための準備をするところだと考えています。皆さんには、将来、社会に出て元気にやっていくために必要な力を、ここ、ロンドン日本人学校でつけてほしいのです。そこで、ロンドン日本人学校の目標は、「自ら学び、心豊かにたくましく国際社会を生きぬく児童生徒の育成」となっています。もう一つ、学校には合い言葉があります。それは「自立・貢献」といいます。

「自立」とは自分の力でやっていくこと。人生は、考え、選択し、決定していくことの繰り返しです。このことを決して人任せにせず、自ら責任を持ってやっていくようにすることが自立です。学校でも、皆さんが考え、選択・決定し、それを表現していける力をつけていきます。

「貢献」とは、誰かのため何かのために役立つよう、力を尽くすこと。私たちは誰でも、一人だけ

では生きていけません。ですから、まわりの誰かのため、何かのために力を発揮することは、回り回って必ず自分自身の力を高め、生きる喜びや将来の成功、幸せへとつながっていくと考えます。

新型コロナとの戦いはまだ終わったわけではありませんが、昨年中止した本校の二大行事、運動会を今年は7月に、文化祭は10月に行います。この二つは、小学部1年生から中学部3年生まで、全員が力を合わせて成功させる行事です。成功に向けて心を燃やし、大いに盛り上げ、大いに愉しみ、これらをはじめとする行事や委員会活動、毎日の学校生活等の中で、貢献の力をつけてほしいと願っています。

新小学6年生、新中学3年生となる皆さんにお話しします。皆さんは、このロンドン日本人学校小学部・中学部それぞれの最上級生です。これからの毎日、どの活動も、皆さんにとっては「小学部・中学部最後の」取組であり、同時にその姿を多くの下級生や保護者、学校がお世話になっている方々が注目します。授業、行事、毎日の学校生活等々、今までの自分から一歩踏み出してチャレンジし、学部の模範となることを期待します。

最後にもう一つ、新中学3年生の皆さん。皆さんは一年後には日本の義務教育を終え、それぞれが卒業後の進路を選択します。目標は「合格する」だけではなく、「これから先、どのような生き方をしたいか」考え、選択し、決定することです。生きるということは選択することです。自分がどのような選択をするか、その選択が自分という人間を示すのであり、その積み重ねが自分自身の人生になります。人任せにすることなく他の意見を取り入れながら自分で考え、選択し、決定し、その決定に責任をもって人生を切り拓く皆さんであってほしいと願っています。

皆で、よい1年にしましょう。

学校教育目標

「自ら学び、心豊かにたくましく 国際社会を生きぬく児童生徒の育成」

合い言葉 「自立・貢献」

合い言葉「自立・貢献」は、ロンドン日本人学校で学ぶ児童生徒のバックボーンとなる考え方です。

ロンドン日本人学校では、「自立」に向け言葉や文章を操る力、情報を収集し活用する力、考える力、表現する力等をつける取組を進めます。

もう一つの「貢献」の力をつけるために、学校では授業をはじめとした様々な教育活動の中で、他者の視点に立って物事をとらえる力、目標達成のために他者と協力して問題解決にあたる力等を育んでいく必要があります。

さらに、これら「自立・貢献」に向け、自己を望ましい方向へとコントロールする力、見通しをもって計画的に行動する力などがなければなりません。ロンドン日本人学校では、これらの力をつけた姿を「**目指す児童生徒像**」とし、

「かしこく・すすんでかかわる・たくましく」

という言葉でまとめました。

コロナ禍を通じ、私達の社会はそれ以前には予想もしなかった方向へ大きく変わりました。これから先、子供達がやがて踏み出す国際社会は、今の私達には見通すことができません。しかし私達は、子供達とその不透明な世界を生き抜く力をつけ、やがては新たな社会の担い手となるような教育を実践してまいります。

令和3年度の本校の教育活動

現在、英国におけるコロナ禍は小康状態を保っており、政府の発表によるロードマップに従って社会的制限の緩和が進められる見通しです。

本校では、4月当初につきましては、これまでと同様の感染防止措置を取り入れた教育活動を進めます。その後、英国政府の示すロードマップに沿って順次制限を解除し、行事等教育活動の復興を進めてまいります。以下、特に例年とは異なる今年度の主な取組についてお知らせします。(それぞれの詳細につきましては別途のお知らせです)

- ・**年度当初の授業参観・懇談会**はオンラインとなります。制限解除により保護者の皆様の校内への立入制限が廃止された後、通常の授業参観を実施してまいります。

- ・**小5自然体験教室**は、施設との交渉を通じ、予定の6月18日(金)から2泊3日で実施を予定しています。
- ・**運動会**は、7月10日(土)を予定しています。会場は例年から変更となる見込です。
- ・**修学旅行(小6・中2)**は、一般的な旅行の解禁状況を踏まえ、2学期実施の予定です。
- ・**文化祭**は、10月23日(土)保護者公開です。
- ・**現地校交流**は、2学期から再開の予定です。

【行事以外の取組】

- ・小学部4学年以上の全児童生徒に、「**教育用iPad**」を貸与し、授業や家庭学習等で活用します。この取組は、文部科学省の推進する「GIGAスクール構想」に則ったものです。
- ・**部活動**の実施は前期のみとなります。これは、冬季は日照時間に合わせて活動時間が短くなり効率が悪いこと、また、教師の指導力向上に向け、授業準備等の時間を確保するためです。

令和3年度 児童生徒数 (4月20日現在)

小学部		中学部	
1年	29	1年	24
2年	27	2年	30
3年	37	3年	32
4年	30		
5年	29		
6年	34		
小学部計	186	中学部計	86

令和3年度 学校スタッフ 学年担当等

- ・◇は、令和3年度派遣教師です。

校長：石山 秀樹 教頭：森下 理香			
	A組担任	B組担任	副担任
小1	樋口 友香	児玉 真理	田中 典子
小2	◇渡部 幸子	◇森永 富二子	田中 典子
小3	桐 陽介	林 美佳	安藤 佐和子
小4	◇春木 明子	◇井上 円	床嶋 友美
小5	伊深 智美	◇森田 幸樹	安藤 佐和子
小6	香川 朋未	◇五味 公人	床嶋 友美
中1	白谷 祐史		
中2	椿 智美		
中3	鈴木 慎	◇齋藤 雄一	望月 美果
英会話	Elizabeth Munyoki, Alexander Finch, Monica Swiatek, Alessandra Pelissa, 石川 美加		
養護：五十嵐 文恵 図書館司書：房田 麻実			
事務局長：西原 勝克			
事務局：古井 真由美, 高瀬 利重子, 垣内 麻里			